

## 1. この讚美歌の魅力

日本人が初めて日本語で歌い、日本人に最も愛唱されたと言っても良い讚美歌『主われを愛す』の原題は『Jesus Loves Me』で、童謡『シャボン玉』の原曲ではとの説もあります。

元々の英語歌詞は1860年に出版された米国人女性アンナ・ワーナーの姉による小説「Say and Seal」の第2巻第8章の挿入歌です。軽やかな旋律からは想像しがたいことですが、「主われを愛す」の詩は幼い男子の口から漏れ聞こえた祈りの歌です。

イエスさまがぼくを愛してくれることは、  
聖書が教えてくれる。  
イエスさまが死んだので、  
天国の門が広く開かれた。  
イエスさまは、ぼくを天国の家につれていってください。

## 2. 幕末の日本

1853年(嘉永6年) ペリーの黒船の浦賀沖来航

1858年(安政5年) 日米修好通商条約締結

この条約により、居留地内に限り信教の自由(第8条)が認められ会堂建設も承認されたが、依然としてキリスト教は禁止されていた。宣教師たちは居留地の自宅で英語を教え日本語を学び、聖書翻訳をするなど、来るべきキリスト教解禁の日を熱心に祈りつつ待望した。

1859年 横浜、箱館、長崎、新潟、神戸を開港→宣教師たちが次々と到着

## 3. 「主われを愛す」の誕生

1860年 作詩

アンナ・バートレット・ワーナー(1827-1915)によって書かれた歌詞は、姉のスーザン・ワーナー(1819-1885)が書いた1860年の小説『Say and Seal』の挿入歌として登場しました。この『Say and Seal』は、聖書の知恵を頻繁に引用する非常に深遠で真の敬虔さを持つ小説です。

その文脈では、病気の少年ジョニーを慰める教師リンデン先生の言葉、つまり弱さ、病気、さらには天国の約束に関連する聖書の言葉の提供であり、また、死にゆく子供の祈りの言葉として語られています。

1862年 作曲

ウィリアム・バachelダー・ブラッドベリ(1816年-1868年)は、原詞に "Yes, Jesus loves me, Yes, Jesus Loves me..."のコーラス(リフレイン)を付加しました。出版後、世界中の教会で最も人気のあるキリスト教の讚美歌の一つとなり、特に子供たちの間で人気を博しました。

～ 続く ～

#### 4. 明治維新前後の日本

1865年、大浦天主堂が建立、浦上村の男女が聖母像の前にひざまずき、先祖伝来の信仰を告白

1867年、浦上四番崩れ 3000名以上のキリシタンたちが各地に流刑にされ、600名が殉教

**1868年(明治元) 明治維新**、禁教の高札を全国に立てる。神仏判然令→神社より仏教を一掃(廃仏毀釈)

1872年(明治5年) 自葬禁止令(葬儀は仏教と神道のみ、解除は1884年)

1872年、在日宣教師会議で「**主われを愛す**」の日本語訳が試唱さる。この時、太政官の異宗搜索謀者として潜入していた三人の僧侶により、歌詞をはじめとした記録が残された。

1873年、キリシタン禁制高札が撤去さる。しかし実質は、外交政策上キリスト教を黙認しただけ。

1876年(明治9年) 現在の熊本花岡山(熊本夜景の名所)で、熊本洋学校生徒35人がプロテスタント・キリスト教に改宗、これを日本に広めようと盟約を交わし奉教趣意書に署名、祈祷会后「**主われを愛す**」を合唱した。その直後、熊本洋学校は閉校となり、“先祖を裏切った”生徒たちは座敷牢に幽閉されたり、自刃(じじん、刀剣を用いて自殺すること)で脅かされる等の迫害が降り掛かった。その後彼らは新島襄の同志社英学校に移り、卒業後は同志社大学、日本組合基督教会の重鎮となり基礎を築いた。

#### 5. 讃美歌「主われを愛す」の普及と唱歌の誕生

1893(明治26)年 「**主われを愛す**」のメロディーが、唱歌「運動」で用いられる。

1903(明治36)年 日本初キリスト教各派賛美歌集を総合した共通讃美歌集でほぼ現行讃美歌(1954版)461番の形に。

1912(明治45)年、「**主われを愛す**」のメロディーが、唱歌「虹」(尋常小学唱歌第三学年用)で用いられる。

1923(大正12)年『シャボン玉 飛んだ』発表さる。

#### 表 日本語訳讃美歌における歌詞の違い

| 讃美歌集名                                      | 出版年   | 番号  | タイトル        | 歌詞      | 翻訳 |
|--|-------|-----|-------------|---------|----|
| 原歌詞 “for the Bible tells me so” の日本語訳の有無 ↓ |       |     |             |         |    |
| 日本語訳試唱                                     | 1872年 |     | 「エスワレヲ愛シマス」 | —       | 有  |
| 讃美歌  | 1903年 | ?   | 「主われを愛す」    | 文語      | ×  |
| 現行讃美歌                                      | 1954年 | 461 | 「主われを愛す」    | 文語      | ×  |
| 聖歌   | 1958年 | 655 | 「主がついてれば」   | 口語      | 有  |
| ふくいん子どもさんびか                                |       |     |             |         |    |
|  | 1965年 | 75  | 「イエスさまのあい」  | 口語      | ×  |
| 子どもさんびか(日本ホーリネス教団出版局)                      |       |     |             |         |    |
|  | 1982年 | 57  | 「主はわたしさえ」   | 口語      | 有  |
| 讃美歌21                                      | 1997年 | 484 | 「主われを愛す」    |         |    |
|  |       |     |             | 文語/口語並記 | 有  |
| 新聖歌  | 2001年 | 505 | 「主われを愛す」    | 文語      | ×  |
| 聖歌総合版                                      | 2002年 | 713 | 「主がついてれば」   | 口語      | 有  |
| 新生讃美歌                                      | 2003年 | 523 | 「主われを愛す」    | 文語      | ×  |
| 教会福音讃美歌                                    | 2012年 | 52  | 「主われを愛す」    | 文語      | ×  |